

発表日 平成21年12月8日

担当課:新産業・技術振興課

直通:092-643-3448

内線:3737

担当者:白倉、田代

「燃料電池バス」試乗会開催！

究極のエコバス「燃料電池ハイブリッドバス」の乗り心地を体験できます

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議(1)では、環境にやさしい水素エネルギー社会を実現するため、「水素ハイウェイ(2)」を始めとした『福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)』を展開しています。

このたび、「福岡自動車博覧会(モーターショー)」の開催に合わせ、12月11日(金曜)～14日(月曜)に、燃料電池バス「FCHV-BUS(エフ・シー・エイチ・ヴィーバス)」が福岡を訪問することになりました。

FCHV-BUSは、トヨタ自動車(株)と日野自動車(株)が共同開発した水素を燃料とする燃料電池ハイブリッドバスで、2005年に開催された「愛・地球博」の会場間シャトルバスとして100万人が利用し、現在は中部国際空港の空港内ランプバス等として実証走行を行っております。

今回、FCHV-BUSは、『福岡県庁』、福岡水素タウン(3)として家庭用燃料電池の集中実証を実施中の『前原市南風台(みなかぜだい)団地』、水素エネルギー研究の世界的拠点である『九州大学伊都キャンパス』を訪問し、試乗会を実施します。

どなたでもご乗車いただけますので、是非、この機会に燃料電池ハイブリッドバスの静粛性、乗り心地をご体験ください。

1 スケジュール

12月11日(金曜) 第1回説明試乗会(福岡県庁,添付資料1)

〔場所〕福岡県庁行政棟 南玄関

〔時間〕12月11日(金曜) 15時45分～17時

〔内容〕知事挨拶,トヨタ自動車株式会社ご挨拶,知事試乗(撮影・インタビュー),説明

試乗会

報道機関の方は、15時15分から事前の試乗ができます(撮影可)。

参加人数を把握させていただきますので、前日10日(木曜)17時までに、新産

業・

技術振興課まで、試乗予定人数(カメラクルー含む)をご連絡ください。

12月12日(土曜) 第2回説明試乗会(福岡水素タウン, 添付資料2)

(場所) マルシヨク南風店 駐車場(前原市南風台)

(時間) 12月12日(土曜) 12時~14時30分

(内容) 展示・試乗会(南風台周辺)

12月13日(日曜) アジアジャーナリスト会議の視察バスとして利用。

12月14日(月曜) 第3回説明試乗会

(場所) 九州大学伊都キャンパス 水素ステーション(福岡市西区元岡)

(時間) 12時30分~15時

(内容) 試乗会(キャンパス内)

2 定員 着席21名/回

3 申込 不要(当日、直接会場にお越しください。)

4 問い合わせ先

福岡県商工部新産業・技術振興課 水素班 (白倉, 田代)

TEL 092 - 643 - 3448 FAX 092 - 643 - 3436

< 燃料電池ハイブリッドバス(FCHV-BUS) >

トヨタ自動車(株)と日野自動車(株)が共同で開発。

高压水素タンクをルーフに装備し、「トヨタFCスタック」を2基搭載することによって優れた性能を確保。クリーンで騒音が少なく、都市環境の改善に大きく貢献。

2005年愛・地球博では会場間のシャトルバスとして8台のFCHV-BUSが運行し、100万人が利用。

2006年3月より、中部国際空港周辺で営業運行中。



1:福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織(2004年8月発足)。2009年12月1日現在、571企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木 啓介(くろき けいすけ)代表取締役副社長。

2:水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション(福岡市西区元岡,九州大学伊都キャンパス内)」「北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田)」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト(JHFCプロジェクト)」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

3:福岡水素タウン

家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」。

新日本石油株式会社,西部ガスエネルギー株式会社と共同し、前原市の「南風台(みなかぜだ)団地」「美咲(みさき)が丘団地」の150世帯を対象に、LPガスを燃料とする家庭用燃料電池を平成20年度に設置。約4年間にわたり省エネ効果などを検証。

家庭用燃料電池を100世帯を超える規模で集中設置するのは、世界初の取り組み。

[添付資料1:第1回説明試乗会\(12月11日\)](#)(PDFファイル 261.06KB)

[添付資料2:第2回説明試乗会\(12月12日\)](#)(PDFファイル 284.52KB)

[添付資料3:福岡水素戦略の概要](#)(PDFファイル 370.69KB)

燃料電池バス 試乗説明会

日 時 平成 21 年 12 月 11 日 (金) 15:45 ~ 17:00

場 所 福岡県庁 南側玄関前

説 明 者 トヨタ自動車
F C 開発部
主査 担当部長 大仲 英巳 氏

内 容

15:45 知事挨拶

15:50 トヨタ自動車ご挨拶

15:55 知事試乗 (撮影)

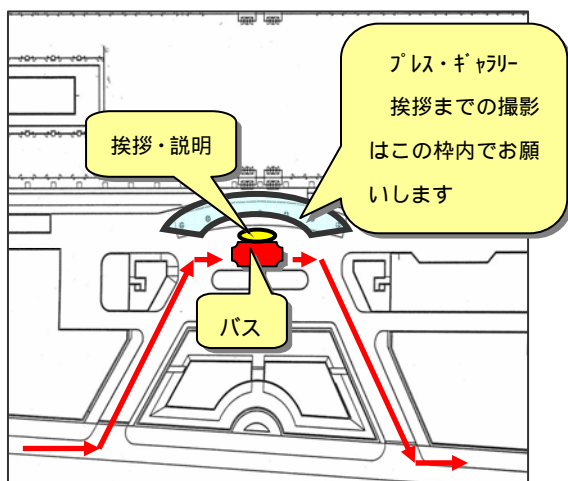
【試乗説明会】

16:20 トヨタ自動車 バス説明 (質疑)

16:30 試乗会

17:00 終了

(配置図及び試乗コース)



(問い合わせ先)

福岡県商工部新産業・技術振興課 白倉、田代

TEL 092-643-3448

< 燃料電池ハイブリッドバス (FCHV-BUS) >



トヨタ自動車（株）と日野自動車（株）が共同で開発。

高圧水素タンクをルーフに装備し、「トヨタ FC スタック」を 2 基搭載することによって優れた性能を確保。クリーンで騒音が少なく、都市環境の改善に大きく貢献。

2005 年愛・地球博では会場間のシャトルバスとして 8 台の FCHV-BUS が運行し、100 万人が利用。

2006 年 3 月より、中部国際空港周辺で営業運行中。

【主要諸元】

会社名	トヨタ自動車株式会社 / 日野自動車株式会社	
車名	FCHV-BUS	
発表年月	2005 年 1 月	
全長 × 全幅 × 全高	10,515 × 2,490 × 3,360mm	
乗車定員	62 名(路線バス) 63 名(ランプバス)	
最高速度	80Km/h	
電動機	種類	交流同期電動機
	最大出力	160kW(80kW × 2)
	最大トルク	520N・m(260N・m × 2)
駆動方式	後輪駆動	
燃料電池	名称	トヨタ FC スタック
	形式	固体高分子型
	最大出力	180kW(90kW × 2)
燃料	種類	純水素
	貯蔵方式	高圧水素タンク(35MPa)
バッテリー	ニッケル水素電池	

福岡水素タウンに燃料電池ハイブリッドバスがやって来る!

燃料電池バス試乗会

12/12(土)
開催!



<燃料電池ハイブリッドバス>FCHV-BUS

日本国内でも珍しい、水素を燃料にして走る「燃料電池ハイブリッドバス」。なんと、そのバスがあなたの街にやってきます。直接触れたり、乗り心地を体験できる貴重な機会です。みなさん、ぜひともお越しください。

《開催日時》平成21年12月12日(土) 12:00~14:30

《開催場所》マルシヨク南風台 駐車場

《内容》バスへの試乗のほか、パネルの展示などを行います。

《試乗時間》10分程度

(※出発予定時間:①12:00 ②12:30 ③13:00 ④13:30 ⑤14:00)

《申し込み》不要(直接会場へお越しください。)

【<燃料電池ハイブリッドバス>FCHV-BUSとは?】

トヨタ自動車(株)と日野自動車(株)が共同で開発。

高压水素タンクをルーフに装備し、「トヨタFCスタック」を2基搭載することによって優れた性能を確保。クリーンで騒音が少なく、都市環境の改善に大きく貢献する。

2005年愛・地球博では会場間のシャトルバスとして8台のFCHV-BUSが運行し、100万人が利用。2006年3月より、中部国際空港周辺で営業運行中。

問合せ先／前原市役所経営企画課 092-323-1111

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略
～Hy-Life プロジェクト～

福岡水素戦略の推進組織
Promotion Organization of Fukuoka Hydrogen Strategy

福岡水素エネルギー戦略会議

設立 平成16年8月3日
顧問 麻生 渡 (福岡県知事)
有川節夫 (国立大学法人九州大学総長)
北橋健治 (北九州市長)
橋高公久 (九州経済産業局長)
羽矢 惇 (新日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長)
吉田 宏 (福岡市長)
会長 黒木啓介 (新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長)
副会長 上羽尚登 (岩谷産業株式会社 専務取締役)
松村幾敏 (新日本石油株式会社 代表取締役副社長執行役員)
村上敬宜 (九州大学 理事・副学長)
渡邊浩之 (トヨタ自動車株式会社 技監)
幹事会 会員中核企業などで組織
事務局 福岡県商工部新産業・技術振興課



福岡水素戦略の全体概要
Whole of Fukuoka hydrogen strategy outline



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています！

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436
E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略

~Hy-Life プロジェクト~

Hydrogen Highway

水素ハイウェイ

水素エネルギー社会を見据えた次世代型ステーションを整備し、燃料電池自動車・水素エンジン車が自由に走行できる環境を提供します。

平成21年9月 ステーション運連開始

九州大学水素ステーション

(再生可能エネルギーを利用した水電解方式)

[協働企業・機関]

九州大学、九州電力(株)、大陽日酸(株)、(株)キューキ

北九州水素ステーション

(副生水素のパイプライン供給)

[協働企業]

岩谷産業(株)、新日本製鐵(株)、新日本石油(株)



九州大学・水素ステーション

Hydrogen Town

水素タウン

水素エネルギー社会を具現化するモデル都市として、家庭用燃料電池システムを集中的に設置する世界最大の「水素タウン」を整備します。

平成21年2月 福岡水素タウン完成 (150世帯)

[場所] 前原市南風台(みなかぜだい) 団地
美咲が丘(みさきがおか) 団地

[協働企業]

新日本石油(株)、西部ガスエネルギー(株)

平成21年度 北九州水素タウンの整備



福岡水素タウン1号機設置記念式典

Model district

各種モデル地区

[小型移動体等]

水素ステーションを核に、フォークリフトや車椅子、さらには携帯用燃料電池(パソコン・携帯電話etc)など、早期の実用化が期待される多様な製品の実証活動を積極的に展開します。

はじまります。
水素エネルギーを利用した新生活。



水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)



産業技術総合研究所・水素材料先端科学研究センター



九州大学水素エネルギー国際研究センター

中小・ベンチャー企業が水素エネルギー新産業へ参入できる土壌づくり

最新研究成果を産業界へ移転するため水素関連分野に特化した試験研究施設を設立しました。

世界的研究機関を中核とした先端的研究開発を九州大学伊都キャンパスにおいて推進

水素脆化の基本メカニズムを解明するとともに、水素脆化を大幅に減少する特別な熱処理方法を発明しました。

※水素脆化：水素ガス環境下で金属疲労が早まる現象

福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています /

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp